



北海道銀行 — 個人のお客さまのために

北海道銀行では、お客さまのライフスタイルの変化に伴う一層多様化したニーズに的確にお応えするため、新しい商品の開発ならびに既存商品のレベルアップに絶えず取り組んでおります。

個人預かり資産

お客さまの資産の運用をお手伝いするために、預金商品を含めたさまざまな金融商品を取り揃えております。

預金商品では、デリバティブを活用することで、銀行が特約により定期預金の満期日を延長できる代わりに、同じ期間の通常定期預金より金利水準が高い「道銀期日延長特約付定期預金（愛称：ワンダブル・ワン）」の取り扱いを17年10月より開始しました。本商品は一定の募集期間を設ける募集形式で行うため、お預入期間・適用金利等は募集ごとに決定します。



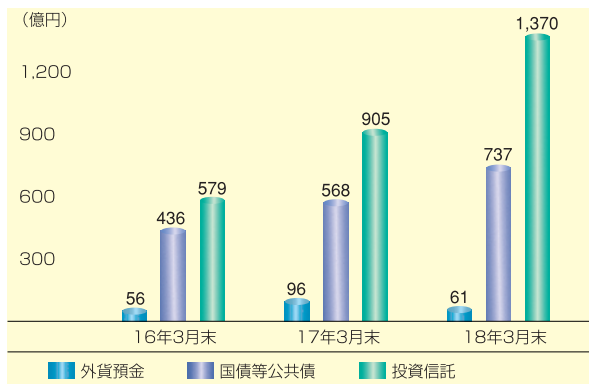
投資信託では、お客さまが目的にあった選択ができるよう、道内金融機関ではもっとも多い30種類以上の商品ラインアップをご用意し、随時、新商品の取り扱いも行ってまいります。大変ご好評をいた

だいております毎月分配型ファンドや、リスク軽減型ファンドに加え、高い経済成長が見込まれる新興国を対象に投資をするファンドなどさまざまなタイプの商品を取り揃えております。また、お客さま向けの運用報告会等を開催し、購入後のご相談対応の充実にも努めております。

個人年金保険商品につきましても、年金受取額が契約時点で確定する「円建て定額年金保険」、外貨建てで確定する「外貨建て定額年金保険」、運用実績により受取額が変動する「変額年金保険」の3タイプを取り揃え、お客さまのご要望に合わせるべく8社9商品のラインアップをご用意しております。

また、18年2月より一時払終身保険の取り扱いを78カ店にて開始し、3社6商品をご用意しております。

■ 投資型金融商品の状況



証券仲介業務

17年4月より、野村証券と提携して証券仲介業務を開始しました。その後みずほ証券とも提携し、18年3月現在道内63カ店にて証券口座の開設やタンス株券の保護預かり、外債等の販売を行っております。

住宅ローン

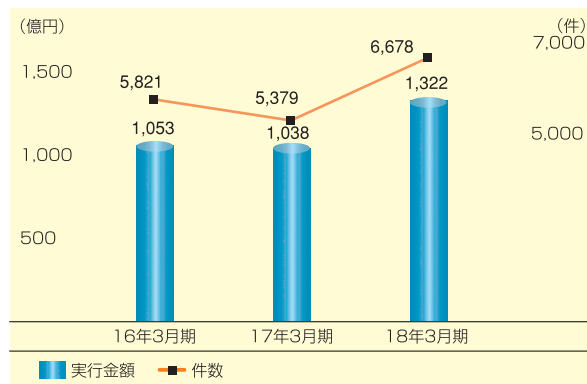
住宅ローンにつきましては、「道銀がん保障付き住宅ローン」、低金利が魅力の「道銀住宅ローンキャンペーン」などがご好評をいただき、18年3月末の住宅ローン残高(含むアパートローン)は8,145億円(前年対比524億円増加)となりました。



また、「道銀住宅ローンプラザ」を道内主要都市12カ所に開設しており、ローン専門のスタッフによるきめ細かなご相談や、お申込みを受付する体制を整えています。札幌市内のプラザにつきましては土曜日の営業も行っておりますので、平日ご来店できない方も安心してご利用いただけます。

さらに、環境に優しい住宅の取得を応援する「道銀環境配慮型住宅ローン」なども大変ご好評をいただいております。

■ 道内住宅ローンの新規取扱状況



北海道銀行 — 個人のお客さまのために

ラピッドカードローン

道銀の簡単キャッシング『ラピッド』は、電話・FAX・インターネット・郵送で24時間365日お申込みいただけるご来店不要のカードローンで、最短でお申込み当日のご融資が可能です。

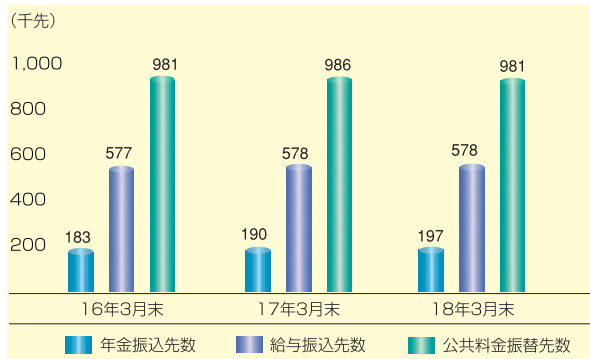
ATMネットワーク

北海道銀行では店舗外ATM338台に加え、コンビニATM運営会社「イーネット」および「ローソン・エイティエム・ネットワークス」との提携により、セイコーマート、ファミリーマートおよびローソン等に設置されている全国10,042台(うち道内253台)のコンビニATMがご利用いただけます。(各ATM台数は18年6月末現在)

決済サービスのご利用状況

年金振込は19万先、給与振込は57万先、公共料金の自動振替は98万先、と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。

■ 決済サービスのご利用状況



年金講演会

道内各地で、社会保険労務士が年金の仕組み、諸手続き等について、ご説明をする年金講演会を開催しています。

	開催回数	出席人数	主な開催地
平成15年度	64回	2,514人	札幌、小樽、旭川
平成16年度	71回	2,911人	帯広、釧路、苫小牧
平成17年度	89回	3,001人	室蘭、北見、函館

テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキング

いつでも、どこでも道銀とお取引ができるサービスです。

- ・電話を使って ~テレホンバンキング
- ・パソコンを使って ~インターネットバンキング
- ・携帯電話を使って ~モバイルバンキング

テレホンバンキングはキャッシュカードをお持ちの方であれば、どなたでもご利用できるサービス(残高照会・住所変更等)と、会員の方(18年3月末現在約3万8千先)がご利用できるサービス(振込・定期預金入金・解約等)があります。

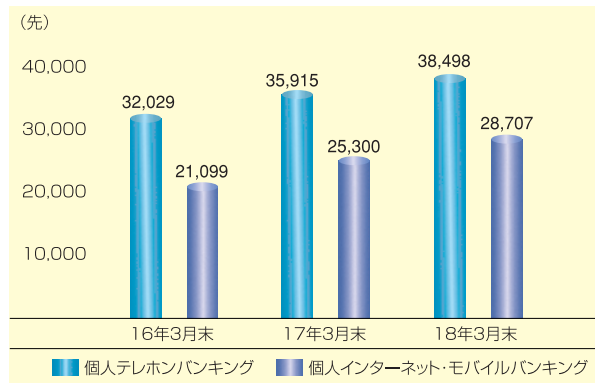
インターネットバンキング・モバイルバンキングは、原則として24時間365日ご利用が可能で、18年3月末現在約2万8千先のお客さまにご利用いただいております。

インターネットバンキングは振込・振替、定期預金の入金・解約、公共料金口座振替、住所変更の申込みの他、税金・各種料金払込サービス(ペイジー)がご利用いただけます。モバイルバンキングでは、振込・振替の他、税金・各種料金払込サービス(ペイジー)がご利用いただけます。また、17年7月からはATMと同様に都度・即時振込が可能となり、ますます便利になりました。



インターネットバンキング画面

■ 道内のダイレクトバンキング会員数の推移



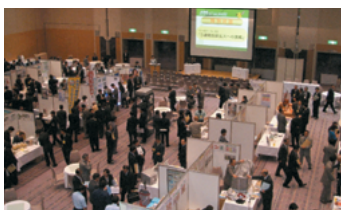
## 北海道銀行 — 中小企業のお客さまのために

北海道銀行では、従来の預金・融資業務に加え、中小企業の皆さまのビジネスのお役に立てるよう各種サービスの充実を図っております。

### ビジネスマッチング業務

16年7月より、ビジネスマッチング業務「マッチ・グー!」の取り扱いを開始いたしております。お取引先における経営課題・経営施策に関して、北海道銀行の持つ情報ネットワークを活用し適切なパートナーをご紹介します仕組みです。

また、お取引先のビジネスチャンス拡大を支援するため、平成11年より北海道ビジネスフォーラムを開催しています。17年10月18日の「北海道ビジネスフォーラム2005」では、斎藤精一郎・千葉商科大学大学院教授による基調講演の後、4テーマによるビジネスセミナーと北海道ビジネス交流会を開催し、延べ約3,000名が参加されました。第7回となる「北海道ビジネス交流会」には、北陸銀行のお取引先8社を含む69社が出展、約1,200名が来場され、会場内で約250組の具体的な商談が実現するなど、活気に満ちた交流会となりました。今後もほくほくフィナンシャルグループのネットワークを活用し、広域かつ実効性の高いビジネスマッチングを実現してまいります。



北海道ビジネスフォーラム2005



### 海外ビジネス支援体制の強化

法人営業部国際業務室内に中国・ロシアデスクを設置し、中国、ロシアとのビジネス、経済交流の支援を行っております。

#### 【ほっかいどう長城会】

16年5月、中国ビジネスに関する情報交換、企業交流の場として、「ほっかいどう長城会」を設立いたしました。

18年3月末現在、会員数は228先となっております。今後は、北陸銀行の「ほくろく長城会」との連携をさらに深めながら、取引先企業の中



国進出支援に積極的に取り組んでまいります。

#### 【サハリン州との交流支援】

ロシア・サハリン州につきましては、北海道が国内で一番近く、地元企業の皆さまの注目が高まっています。北海道銀行は現地の情報収集、地元企業への情報提供、支援を目的として、サハリンウエスト銀行と業務提携し、17年2月には、サハリン関連ビジネスに投資する「道銀サハリンビジネス・サポートファンド」を設立しております。今後もこれらの取り組みを強化してまいります。

### ビジネスローンプラザ

中小企業・個人事業主向け融資専門店「ビジネスローンプラザ」は、15年12月のオープン以来「早い」「簡単」「便利」をコンセプトに、無担保・第三者保証不要を基本として、お客さまの資金ニーズにお応えしてまいりました。

16年12月に導入いたしました「自動審査システム」により審査期間を大幅に短縮。すでにお取引のあるお客さまは最短

マインドカンフレット

即日、ご新規のお客さまでも最短で翌日に回答が可能となり、一層スピーディーな対応が可能となりました。17年4月には、この「自動審査システム」を活用したご新規の中小企業・個人事業主のお客さま向け

融資商品「マイندوق プラス」の取り扱いを開始し好評をいただいております。

北海道銀行では、これからも道内中小企業の皆さまの資金ニーズに積極的に対応してまいります。

## 北海道銀行 — 最適な総合金融サービスの提供

### 道銀地域企業経営研究所による各種経営サポート

地域企業が抱える経営上の問題や課題を解決する専門的な支援部署として、法人営業部内に「道銀地域企業経営研究所」を設置し、実践的に問題解決をお手伝いしています。

#### ● セミナー

キャリアに応じたプログラムで構成される「階層別研修」と、日々の実務に直結した話題を提供する「マネジメントスクール」を開催しています。



新製品・新商品開発マーケティング戦略セミナー

#### ● コンサルティングサービス

長年にわたって蓄積した独自のノウハウをもとに、各企業の個性と現状に即した最も効果的な解決策をご提案します。

#### ● 経済調査室

道内および国内外の経済・産業動向に関して独自に調査・分析を行い、ビジネスの一助となる質の高い情報提供に努めています。月刊誌「調査ニュース」の刊行、「北海道経済の見通し」の発表（年2回）のほか、講演活動などを行っています。



道銀地域企業経営研究所の各種刊行物

### ■ 主な刊行物

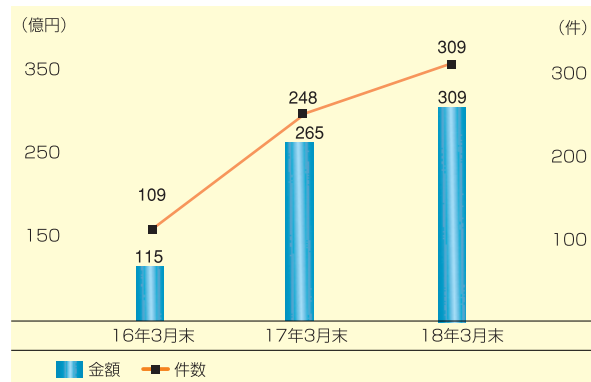
刊行物名	発行	内容
調査ニュース	月刊	道内及び国内外の産業、経済・金融の動向に関するその時々話題や調査結果などをコンパクトに編集
あなたの年金 早わかりQ&A	年1回	国民年金、厚生年金、共済年金について、どうすれば、いつから、どれだけ受給できるかをわかりやすく解説
新しい税金の知識	年1回	税制改正等に伴い、どのような点が変わったのか、さまざまな税金についてわかりやすく解説
確定申告のしかた	年1回	確定申告のポイントと申告書の書き方をわかりやすく解説

### 時代のニーズに対応した金融サービスの提供

シンジケートローン・私募債・デリバティブ・債権流動化・ファクタリング等、時代にマッチした最新金融商品の開発・提供を心がけております。

17年7月にはデリバティブ内包型円定期預金（「道銀EX定期預金-II」）の取り扱い開始、さらに18年3月にはコモディティ・デリバティブ取引の媒介業務の取り扱いを開始する等、積極的に新種業務に取り組んでおります。このような専門性の高い金融サービスの提供により、地域金融機関としてお客さまが抱える経営課題の解決にお役に立ちたいと考えております。

### ■ 私募債残高



北海道銀行では、地元北海道経済を支える企業の支援を通じ、地域経済の活性化を図るため、事業再生、企業育成に力を入れています。

## 企業育成

16年5月に投資事業有限責任組合法に基づいた「道銀とさんこ1号ファンド」を設立、18年1月には、2号ファンドを設立いたしました。主に道内における起業、新規事業等に取り組むベンチャーや中小企業等への投資を通じ、地域経済の発展と産業振興に寄与することを目的としております。従来の金融機能の提供と本ファンドからの円滑な資金供給により、新技術・新製品開発力に富む企業の育成や新産業の創造に積極的に取り組み、将来の北海道経済を担うベンチャーや中小企業の成長をサポートしております。18年6月末現在、道内における起業、新規事業等に取り組むベンチャーや中小企業など21先に対し、7億36百万円を投資しました。

## 道銀中小企業人材育成基金

道内産業の技術力強化による自立性ある経営基盤確立のため、第二次産業を中心とした経営者およびその従業員・研究者等の技術水準向上、新技術分野開発能力等の養成を図る事業を行っております。



## 経営改善支援への取組

専門部署として「企業支援室」を設置し、お取引先企業の経営改善支援を実施しています。平成17年度は対象先として選定した340社のうち、50社の債務者区分が改善（ランクアップ）いたしました。同室が発足した平成15年4月以降では、229社のランクアップを実現しています。また、外部コンサルティング会社との連携による銀行職員向けコンサルティング相談会を開催し、「企業再生スキルの向上」と「迅速な経営改善の実現」に努めております。

### ■ 経営改善支援の取組実績

17年度（17年4月～18年3月）

（単位：先数）

	期初債務者数	取組み先 うち経営改善支援	うち期末に債務者区分が変化しなかった先数	
			うち期末に債務者区分が上昇した先数	うち期末に債務者区分が破綻した先数
正常先	6,740	8	2	
要注意先	3,228	269	42	185
うち要管理先	86	30	6	16
破綻懸念先	823	32	2	26
実質破綻先	126	1	0	0
破綻先	151	0	0	0
合計	11,154	340	50	229

### ■ 当基金によるISO認証取得支援の実績

（単位：先数）

	品質 マネジメント システム	環境 マネジメント システム	労働安全衛生 マネジメント システム
平成13年度以前	141	1	1
平成14年度	24	1	0
平成15年度	25	7	0
平成16年度	24	13	1
平成17年度	7	9	3



コンサルティング相談会